

Press Release

2026年3月27日

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

アセットオーナー・プリンシプルの受け入れについて

当社は、アセットオーナー・プリンシプルの趣旨に賛同し、当プリンシプルを受け入れることを表明いたします。各原則への対応は以下の通りです。

原則 1 :

アセットオーナーは、受益者等の最善の利益を勘案し、何のために運用を行うのかという運用目的を定め、適切な手続に基づく意思決定の下、経済・金融環境等を踏まえつつ、運用目的に合った運用目標及び運用方針を定めるべきである。また、これらは状況変化に応じて適切に見直すべきである。

当社の一般勘定においては、保険契約等の負債特性を十分に踏まえ、安全性と流動性を確保しつつ、中長期的に安定した収益を確保することを目指しています。このような運用方針のもと、金融環境や負債特性の変化を捉えた資産運用計画を策定しています。計画の策定および改定にあたっては、社内プロセスに則り、機関決定を行っています。

また特別勘定においては、保険商品の特性に応じた運用方針を定め、投資対象を機関決定しています。

原則 2 :

受益者等の最善の利益を追求する上では、アセットオーナーにおいて専門的知見に基づいて行動することが求められる。そこで、アセットオーナーは、原則1の運用目標・運用方針に照らして必要な人材確保などの体制整備を行い、その体制を適切に機能させるとともに、知見の補充・充実のために必要な場合には、外部知見の活用や外部委託を検討すべきである。

当社は、運用方針実現のために必要な専門知識を有する経験豊かな人材を確保しております。社内規程により、投資執行と投資事務を遂行する組織をそれぞれ設置するとともに、資産運用の責任者および担当者の権限を明確化し、相互牽制が有効に機能する体制を堅持しています。

また必要に応じてグループ内の知見を効率的に活用し、組織としての知見の補充・充実に努めています。

原則 3 :

アセットオーナーは、運用目標の実現のため、運用方針に基づき、自己又は第三者ではなく受益者等の利益の観点から運用方法の選択を適切に行うほか、投資先の分散をはじめとするリスク管理を適切に行うべきである。特に、運用を金融機関等に委託する場合は、利益相反を適切に管理しつつ最適な運用委託先を選定するとともに、定期的な見直しを行うべきである。

当社は、運用方針に基づいたポートフォリオ構築ならびに投資対象を選定し、分散投資による適切なリスク管理を行っております。また外部委託先の選定に際しては、当社の運用戦略との整合性や利益相反の有無を検証し、妥当性を確認しています。委託後も定期的な評価を通じて、ガイドラインの遵守状況を把握する等、リスク管理部門にて網羅的にモニタリングできる体制を整えています。

原則 4 :

アセットオーナーは、ステークホルダーへの説明責任を果たすため、運用状況についての情報提供（「見える化」）を行い、ステークホルダーとの対話に役立てるべきである。

当社は、ディスクロージャー誌等のホームページでの公開を通じて、資産運用の状況に関する情報提供を行っております。

原則 5 :

アセットオーナーは、受益者等のために運用目標の実現を図るに当たり、自ら又は運用委託先の行動を通じてステュワードシップ活動を実施するなど、投資先企業の持続的成長に資するよう必要な工夫をすべきである。

当社は、公社債投資において ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点を含めた投資判断を行っております。投資を通じて社会課題の解決に貢献していきたいと考えています。

以上

本リリースに関する問合せ先
クレディ・アグリコル生命保険株式会社 広報窓口
JPN-CAL-kouhou@ca-life.jp